

感染症についてのお知らせ



つながる
墨田区

墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所 3階
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

平成31年
2月号

東京都内の感染症流行情報

インフルエンザ、伝染性紅斑は警報レベルに達しています。
感染性胃腸炎は一部の地域で報告数が増えています。

感染症のお知らせ

都内でインフルエンザの流行警報が出ています

東京都における2019年第4週(1月21日から1月27日まで)のインフルエンザ患者報告数が、定点当たり64.18人で、感染症法による現在のサーベイランスが始まった1999年4月以来、最高値となりました。都内のインフルエンザ患者報告数は、「**流行警報基準**」*を超え、集団感染事例も多数報告されています。インフルエンザの予防、拡大防止に、より一層注意するとともに、感染が疑われる場合には、早めに医療機関を受診し、体調管理にも十分に気をつけてください。

* **流行警報基準**：感染症発生動向調査による定点報告において、30人/定点(週)を超えた保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた場合としています。

<インフルエンザとは>

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスを原因とする呼吸器感染症です。概ね1~3日の潜伏期間の後に、発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、咳(せき)、鼻水などを呈します。一般的な風邪に比べ、全身症状が強いことを特徴とします。多くの人は1週間程度で回復しますが、高齢者や心疾患など基礎疾患のある方は、肺炎を伴うなど重症化することがあります。インフルエンザが疑われる症状が出た場合は、早めに受診しましょう。

<主な感染経路>

患者の咳(せき)やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」と、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」により感染します。

<予防対策のポイント>

こまめに手を洗いましょう。

規則正しい生活を送って十分な休養をとり、バランスのとれた食事と適切な水分の補給に努めましょう。

普段から一人ひとりが咳エチケットを心がけましょう。

室内の適度な加湿(概ね湿度50~60%)と換気を行いましょう。

子どものMR（麻しん風しん混合）の予防接種をしましょう

麻しん（はしか）は感染力が強く、かかると重篤な肺炎や脳炎を引き起こすこともあります。空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防できません。予防接種が最も有効な予防法です。

風しん（三日ばしか）は妊婦が妊娠早期にかかると、先天性風しん症候群とよばれる、心奇形・白内障・聴力障害児が生まれる可能性が高くなります。風しんは、平成30年7月下旬頃から関東地方を中心に患者数の報告が増加しています。

麻しん風しんともに、予防には予防接種が有効ですが、効果を持続させるためには1歳時の接種に加え、2回目の接種（MR第2期）が大切です。忘れずに接種しましょう。

<子どものMR（麻しん風しん混合）の定期予防接種について>

定期予防接種の対象期間

【1期】：12か月（1歳）～24か月（2歳）に達する前日まで

【2期】：5歳以上7歳未満で、小学校就学前の1年間

（年長児の4月1日～翌年3月31日）

MR2期定期接種対象のお子さん(平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ)は、平成31年3月31日を過ぎると定期接種として受けることができなくなります。まだ受けていない方はできるだけお早めに接種してください。

接種のために必要な接種記録票は平成30年3月末頃に区からお送りしていますが、お手元がない方は、保健予防課感染症係（：03-5608-6191）までご連絡ください。

<子どものMR（麻しん風しん混合）の任意予防接種を公費負担しています>

墨田区では、MR（麻しん風しん混合）の定期接種期間中に受けることができなかった方で、次の対象年齢の方に、接種費用の助成を行っています。

【対象者】 平成12年4月2日から平成24年4月1日までに生まれたお子さん
平成25年4月2日以降に生まれた生後24か月以上のお子さん
麻しん・風しん両方をり患した方は除きます。

【実施期間】 平成31年3月31日まで

【接種場所】 墨田区内予防接種実施医療機関

【費用】 無料。ただし、墨田区内予防接種実施医療機関で接種する場合があります。

【申し込み方法】

接種を希望する人は接種前に電話で下記にお申込みください。

申込み後、医療機関にお持ちいただく予防接種予診票を郵送します。

申し込み・問い合わせ先

保健予防課感染症係 電話：03-5608-6191

向島保健センター 電話：03-3611-6135

本所保健センター 電話：03-3622-9137

このお知らせは、東京都感染症情報センター（<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>）の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」（<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/>）を基に作成しています。